



交通ルールを守ってね！

9/24 こぐまクラブ街頭啓発

藤幼稚園の園児たちが、国道39号線沿いで行った「こぐまクラブ」の黄色い旗の波。園児たちが沿道を走る車に向かい、元気に交通安全を呼びかけました。

びほろ町

ざかい

9月定例会のあらまし

行政報告など	2 P
意見書・補正予算	3 P
決算審査特別委員会を設置	4 P

こんなことを聞きました

一般質問 9人登壇	4 P
-----------	-----

こんなことを決めました

7月臨時会・8月臨時会	14 P
-------------	------

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.238 令和2年11月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会



9月定例会のあらまし

【15日】会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員4名（木村・藤原・馬場・戸澤）が一般質問に登壇。宿泊施設整備や除雪、行政運営、感染症対策などについて活発な議論が交わされました。

【16日】議員5名（松浦・上杉・大江・稲垣・岡本）が一般質問に登壇。公共交通、宿泊施設誘致、新規就農者支援、町民会館のピアノの管理状況、福祉行政などについて活発な議論が交わされました。

【17日】議案審議に入り、動産の取得、工事請負契約の締結、条例改正や補正予算案など15件の議案を審議し、いずれも可決されました。次いで、平成31年度各会計決算認定は決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。その後、4件の意見書案を可決し、例月出納検査など6件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

◆公立高等学校配置計画による美幌高等学校の1学級減について

6月2日付で北海道教育委員会では「公立高等学校配置計画案（令和3年度～令和5年度）を策定し、美幌高等学校については、令和5年度に1学級減との内容が示されました。

これを受け「美幌高校を守る会」において、北海道教育委員会教育長に対し、「令和5年度北海道美幌高等学校学級減（1間口）の撤回を求める請願書」と町内外からの署名簿を提出するなど、1学級減の撤回を求めてきたところです。

9月7日には計画案のとおり令和5年度に1学級減との内容が示されましたが、その決定の時期については、地域の検討状況等を勘案し、令和2年度から令和3年度に先送りするとした計画が公表されたところです。

美幌高校の1学級減については、決定が先送りされたとはいえ、美幌高校の生徒募集にも影響が出ることが懸念され、依然として厳しい状況にあると認識しています。

今後においても、引き続き北海道教育委員会との協議を継続するとともに、美幌高校ならびに美幌高等学校教育振興対策協議会と情報共有を図りながら生徒募集活動を充実させ、一人でも多くの入学者を確保できるよう、美幌高校の魅力化に取り組んでいきます。



4 件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和2年9月定例会では、4件の意見書案を可決し、国等の関係機関へ提出しました。ここでは主な内容について、お知らせします。

① 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書（要旨）

軽油引取税については、平成21年度の地方税法の改正により、道路特定財源から一般財源化され、これに伴い道路の使用に直接関係しない機械等に使われる軽油に設けられている免税制度が、索道事業者等からの強い要望により延長措置が認められ、令和3年3月末での適用期限を迎える。

索道事業では、スキー場のゲレンデ整備に使用する圧雪車の燃料、降雪機の動力源として使用する軽油について免税となっており、この制度がなくなれば、スキー人口の減少等から現在でさえ大変厳しい経営環境をさらに圧迫し、スキー場の経営は一層厳しいものとなり、北海道の観光及び経済にも大きな打撃を与えることが危惧される。

美幌町内のスキー場においても、安全・安心かつ快適なゲレンデを提供するため雪面整備に圧雪車等を使用しており、スキー場の経営維持に軽油引取税の免税措置は不可欠なものとなっている。

よって、国においては、索道事業者、農林水産事業者、鉱物採掘事業者など幅広い産業の経営が圧迫され、地域経済を支えている産業の衰退を招くことのないよう、軽油引取税の課税免除措置を継続するよう強く要望する。

② 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書

③ 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

④ 種苗法の改正に関する意見書

提案された主な議案

動 産 の 取 得

〈役場庁舎備品等（什器・家具） 1 式〉

1 億3,605万 9 千円

〈小中学校情報機器端末（タブレット等） 1 式〉

1 億2,717万 1 千円



工事請負契約の締結

〈小中学校情報通信ネットワーク環境整備工事〉 6,627万 5 千円

補 正 予 算

9月定例会に提案された令和2年度補正予算は、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

○高度無線環境整備推進事業 4 億1,031万 8 千円

（町内に光ファイバー網を整備するための経費）

○新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金 3,520万円

（新型コロナウイルス感染症などに対応する医療従事者に対し国の予算において支給される慰労金）

平成31年度各会計決算認定は特別委員会を設置し付託

平成31年度一般会計、特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公共下水道・個別排水処理）及び水道・病院事業会計の決算認定について、特別委員会を設置して付託。

次のとおり委員を選任し、閉会中の継続審査を行うこととしました。

審査結果については、次の議会において報告し、審議する予定です。

一般会計等決算審査特別委員会

委員長	大江 道 男	副委員長	木 村 利 昭
委 員	岡 本 美代子	委 員	松 浦 和 浩
委 員	戸 澤 義 典	委 員	伊 藤 伸 司

企業会計決算審査特別委員会

委員長	坂 田 美栄子	副委員長	稲 垣 淳 一
委 員	上 杉 晃 央	委 員	高 橋 秀 明
委 員	馬 場 博 美	委 員	藤 原 公 一



委員会報告に向けた書類審査の様子

こんなことを決めました

一般質問

には9人が登壇

質問者と質問項目

■木村 利昭 議員……5頁

- ① 宿泊施設・バンケットホールの整備について
- ② 美幌みどりの村の利活用
- ③ 事業者の後継者対策

■藤原 公一 議員……6頁

- ① 感染防止対策の徹底
- ② 本年度の除雪計画について
- ③ 現庁舎解体後の駐車場計画について

■馬場 博美 議員……7頁

- ① 政治姿勢について
- ② 行政運営について
- ③ 児童生徒の安全確保について

■戸澤 義典 議員……8頁

- ① 新型コロナウイルス感染症対策について

■松浦 和浩 議員……9頁

- ① 地域公共交通計画について
- ② 立地適正化計画について
- ③ 図書館や仲町公営住宅の建て替え計画について

■上杉 晃央 議員……10頁

- ① 宿泊施設の誘致について

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあって最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

■大江 道男 議員……11頁

- ① 新型コロナウイルス・インフルエンザ同時流行対策について
- ② 新規就農者支援について

■稲垣 淳一 議員……12頁

- ① 町民会館保有備品の管理
- ② 自転車保険の義務化について

■岡本 美代子 議員……13頁

- ① 福祉行政について
- ② 外来種駆除について

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



宿泊施設 問 ホテルの誘致とバンケットホールの整備は

木村
利昭議員

答 時期を見定め宿泊施設の確保に努めたい

問 長きにわたり宿泊やイベント会場として大きな役割を果たしてきた美幌グラインドホテルの閉館により、ホテルの誘致、バンケットホールの整備は喫緊の課題と考えるが、町長の考えは。

答 多くの方に利用されていた美幌グラインドホテルの閉館による影響は非常に大きく、早期の宿泊施設確保の必要性は認

識している。町が直接建設することは考えていないが、今後、支援の手法を検討し、時期を見定め、宿泊施設の確保に努めていきたい。バンケット機能については、既存の施設で対応していきたい。

美幌みどりの村

今後の利活用について

問 ワークেশションの促進などで、都会から人を呼ぶには、美幌町の自然を活かしたプログラムやアクティビティを整える必要がある、それにはみどりの村は最高のフィールドだと

考える。今後の有効活用について町長の考え方は。

答 みどりの村は、森林公園キャンプ場と農村公園を核に宿泊施設及び農産加工室があり、町民の学びと憩いのエリアとして将来においても必要な施設。今後は、この自然環境を活かしてワークেশションの拠点施設の整備を進めていきたいと考えており、引き続き町内外の方々の学びと憩いのエリアとして、多くのみなさまに来ていただける施設にしていきたい。

後継者対策

地域おこし協力隊制度の活用は



みどりの村森林公園

問 美幌町内には飲食店や小売店、製造業など多くの商業事業者がおり経済の一翼を担っているが、高齢、後継者不足となっている事業者も多い。地域おこし協力隊の制度を活用し、町外から人を誘致することで後継者のいない事業者を引き継ぐ仕組みをつくることとができれば、移住者の促進にもつなが

り、事業の継続も可能になるのではないかと考えるが、町長の考えは。

答 後継者不足については大きな問題と認識しており、現状の事業承継に対する支援としては、国の制度である事業承継補助金や税制・融資保証制度の紹介、セミナーの開催など商工会議所と連携しているところ。提案の地域おこし協力隊制度を活用した後継者の確保については、他の市町村において実施されている様々な事例を研究し、商工会議所とも協議しながら、町独自の方法で事業承継支援ができないか検討していきたい。

公共工事 問 現場での感染拡大防止は徹底されているか

藤原

公一議員

答

受発注者間の事前打合せにより徹底している



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



問 公共工事の新型コロナウイルス感染症対策について、国土交通省より、「感染拡大防止対策の徹底」「感染拡大防止対策にかかる費用の取り扱い」について

事務連絡が出されているが、①事務連絡は都道府県、指定都市宛てだが、美幌町でも同様に適用するのか。

②現在工事が進められている新庁舎、消

防庁舎、多目的運動場は設計変更の対象となるのか。

③工事現場での感染症防止対策で発生した費用の算定について、美幌町の取り扱いは。

④建築工事以外の工事現場でも、感染拡大防止対策は徹底されているのか。

答

①事務連絡については、各都道府県内の市区町村にも周知することとされているため、同様の対応ができると考えている。

②受注者において感染予防対策マニュアルを作成するなどの

対策が行われており、それらの費用は設計変更の対象になると認識している。

③受注者より実施計画書の提出を受け、受発注者間において必要性を協議する。

④受発注者間で事前打ち合わせをし、工事現場での感染拡大防止を徹底している。

除雪計画

民間委託業者への対応は

問

①最低保証を実施するとのことだったが、どのように見込み、受託業者と意見交換を行うのか。

②深夜0時からの一斉除雪について、臨

機応変な対応はできないのか。

答

①最低保証の積算は、除雪機械時間単価に係る固定経費及び人件費を根拠とすることで考えている。基本方針をまとめた段階で受託業者から意見をもらい最終決定したい。

②歩行者や車両の往来が極めて少ない深夜帯に開始することで住民生活確保や、除雪車両の安全性を確保しているが、緊急的な場合には臨機応変に対応する。

新庁舎

立体駐車場整備の考えは

問

ビールパーティーなどの野外イベントの開催時に貸し出しできるように、駐車場の一部を立体にするなどの検討は可能なのか。

答

新庁舎における駐車場整備については、現庁舎を解体のうえ、その跡地を含め一体的に平面一面による整備を行うこととし、昨年度実施設計が完了しており、来庁者駐車場の十分な確保を第一に捉え、冬期間の除雪などの効率的な維持管理も考慮し、平面一面による駐車場としたところであるため、立体駐車場を整備する考えはない。



政治姿勢 問 政策、施策、事務事業の決定までの流れは

馬場
博美議員

答

原則として自治基本条例に基づき町民参加を求めた中で決定している



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。

問 特に町民生活に大きな影響を及ぼす政策、施策、事務事業の決定の際の具体的な流れは。

答 町民生活に大きな影響を及ぼす政策等の決定については、内容によりプロセスは違うが、原則として美幌町自治基本条例第13条及び第14条の規定に基づき町民参加を求めた中で決定をしている。なお、緊急性を有し時間的

行政運営

行政評価について

問 美幌町では、自治基本条例に基づき行政評価を実施しているが、現状では内部評価になっている。

今後、外部評価の導入など行政評価を見直しすべきと考えるが町長の考えは。

答 本町では、平成18年度から事務事業評価を開始し、平成24年度からは事後評価、事中評価を取り入れ、より効果的な

な余裕がない場合は、その必要性等を適宜判断した中で取り進めている。

安全確保

通学路の防犯カメラ設置

問 児童生徒の登下校にあつては、教員

やPTAの方、地域住民の皆さまが通学路で見守ってくれているが、それでも犯罪は起きている。近隣町でも実施している通学路へ防犯カメラを設置することで児童生徒を犯罪から守り、犯罪捜査への協力にもなるため、防犯カメラの設置を進めていくべきと考えるが、町長の考え方は。

答 防犯カメラの設置は、犯罪の抑止及び解決に効果がある反面、24時間にわたって監視が行われることに対する肖像権あるいはプライバシー

の問題もあると考える。現在の児童生徒に対する見守りの取り組みとしては、青少年育成センターや青パト隊、リトルウイングなどによる声かけや巡視、通学路での街頭指導、子ども110番の家の登録確認を行っており、そのため、通学路への防犯カメラ設置については、地域の皆さまの取り組みと防犯カメラから得られるプライバシー情報の管理を考え、慎重に判断すべきと考える。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



新型コロナ 問 今後の新型コロナウイルス感染症対策は

戸澤
義典議員

答 国の動向を確認しながら対策を進めていく

問 8月28日の厚生労働大臣の会見によれば「新たな知見を踏まえ、感染症を過剰に恐れ社会経済活動を停止させるものではなく、メリハリの効いた対策により、重症者や死亡者をできるだけ抑制し、社会経済活動を継続することが可能と考える。今後のインフルエンザ流行期を見据え、リスクが高い高齢者や基礎疾患があ

る方の感染防止を徹底し、医療資源を重症者に重点化していく。」と述べている。このように今後の国の考え方にに基づき、美幌町として今後の対策をどう考えるのか。

答 町においては、これまで国や北海道の動向や指示を確認しながら、町民の生命と健康保持のため必要な情報の提供や対策を講じてきたところ。今後については、国の方針として検査体制の抜本的な拡充、治療薬やワクチン確保等が示されており、町ではイン

フルエンザの流行期に新型コロナウイルス感染症の疑いがある方が迅速・スムーズに検査できるように、美幌医師会が主体となりPCR検査センター設置を進めているところ。また、国において新型コロナウイルスの開発が進められており、町としても、これまで取り組んでいた新型コロナウイルス感染症予防対策を継続していくとともに、感染状況に応じた検査体制の確保、新型コロナウイルススワクチン接種が開始された場合は速やかな接

種体制の整備など、国の動向を確認しながら必要な対策を進めていきたい。



問 現在の庁舎で使っている飛沫感染防止パネルは、新庁舎でも使用するのか。

答 現在使用しているパネルを新庁舎でも使用する予定。

問 赤平市ではホームページ等でPRしているが、感染者への誹謗中傷防止について、美幌町でも情報発信やPRが必要と考えるが、町長の考え方は。

答 今後、赤平市のホームページも参考にしながら情報を発信していきたい。

問 GIGAスクール構想による小中学校でのタブレット配布とオンライン教育の開始はいつごろになるのか。

答 タブレットは年度内には配備できる予定。教員の研修も年度内に行い、4月からはオンライン教育が可能な状態にしたいと考えている。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



公共交通 問 策定予定の地域公共交通計画の重点事項は

松浦
和浩議員

答 持続可能な地域公共交通網を確立したい



問 ①平成20年度に策定した美幌町地域公共交通総合連携計画に基づいて取り組んでいる各種事業の実施状況は。

②新たに策定を予定している地域公共交通計画の重点事項は。

答 ①地域公共交通確保維持改善事業にて乗合バス（美幌循環線・美幌高校線）及び農村地区のデマンド型乗合タクシーの運行を行っている。

②市街地域を定時運行、郊外・農村地区はデマンド型公共交通を基本に、アンケートやまちづくりミーティングなどによる意向調査を踏まえ、持続可能な地域公共交通網を確立したい。



立地適正化計画

問 「コンパクトなまちづくり」と「公

策定する考えは

公共交通によるネットワーク」の連携による地域公共交通、都市再整備、中心市街地活性化や町村間の広域連携等、政策連携への支援措置が講じられる都市マスタープランの新たな計画として「立地適正化計画」について策定する考えはあるか。

また、公共交通の拠点となる交通センター設置の考えはあるか。

答 「立地適正化計画」は、様々な関係施策と連携を図ることが重要であり、総合的に検討することで効果を発揮するものだが、美幌町は総

合計画及び都市計画マスタープランに基づくまちづくりを進めてきた結果、市街地への人口集中と住宅や公共施設の集約も進んだことから、現在「立地適正化計画」を策定する考えはない。交通センターの設置検討については、アンケートや団体ミーティングなどの意向調査の結果に基づき、必要性を考えていく。

図書館・仲町公住

建設計画の検討状況は

問 立地適正化計画に含めた図書館増築や仲町公営住宅の建て替えも可能と考えるが町長の考えは。また、現在の建設計画の検討状況は。

答 図書館及び仲町公営住宅の建て替え

にあたっては、第6期美幌町総合計画に基づくまちづくりを基本に、かわる計画毎に施設整備の策定・見直しを行い、建て替えを進めていく。図書館建設の検討状況は、図書館協議会委員による先進図書館の視察を行ったところであり、今年度は図書館建設に関する町民アンケートを実施しており、年内には調査結果をまとめる予定。今後は検討委員会を立ち上げ基本構想を策定し、取り組みを進めていきたい。仲町公営住宅については、公営住宅等長寿寿命化計画により建て替えと位置付けているが現段階では建て替えの具体的内容は決定していない。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



宿泊施設誘致

問 宿泊施設誘致条例制定の考えは

上杉

晃央議員

答

条例のほか、有効な手段について研究・検討したい



問 美幌グランドホテルが5月末で廃業となったが、宿泊施設の果たす役割と廃業によって生じた影響をどう認識しているか。また、多様な財政支援を盛り込んだ宿泊施設誘致条例を制定し、誘致活動を積極的に展開すべきと考えるが、条例制定に対する考えや今後の誘致対策は。

答 宿泊施設誘致についての具体的取り

組みについては新型コロナウイルス感染症の影響もあり、進んでいないのが現状。その間、峠の湯びほろにRVパークを開設し、観光客の宿泊受け入れの一助となっているものと考えている。宿泊施設は単に宿泊だけではなく、飲食業や小売業、交通事業など多事業に関わりがあることや、ビジネスの場にも及んでいることから、経済に大きな影響を与えており、早期の宿泊施設確保は必要なものとして認識している。宿泊施設を町が直接建設することは

考えていないが、新型コロナウイルス感染症の影響の推移を見ながら時期を定め、宿泊施設誘致条例のほか、有効な支援の手法について今後研究・検討していきたい。



RVパーク

問 RVパークの利用状況はどうか。
答 昨年7月にオープンしたが、7月か

ら11月で93台の利用があった。今年度は6月からスタートし、6月から9月で81台の利用がある。

問 現在の町の条例の中で宿泊施設に対する助成や、税金や使用料等の優遇措置はあるのか。

答 中小企業振興条例の中で、中小企業に限定はされるが融資が可能となっている。また、今のところ本年度までの時限立法だが過疎地域に該当しているので、宿泊業について3年間、家屋、償却資産にかかる固定資産税の課税免除ができることになっている。

問 グランドホテルのバンケット機能に代わる施設として、町民会館があるが、条例など色々な制約

がある中で、利用しやすい貸出条件への見直しをする予定はあるのか。

答 町民会館については、利用のしやすさや使いづらさが明確になつてくれば、教育委員会とも協議をして改善していきたいと考えている。



町民会館

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



コロナ対策 問 新型コロナウイルス・インフルエンザ同時流行対策は

大江
道男議員

答 動向を確認しながら必要な体制を整備する



問 ①インフルエン

ザと新型コロナウイルスを識別困難との理由で新型コロナウイルス診療・検査可能医療機関以外では受診不可能になると思われるが、町内で受入可能な医療機関及び診療・検査可能数は。

新型コロナウイルス対応の診療・検査医療機関に拡大することが求められているが、美幌町での可能性は。

④重篤な症状の場合、は自宅待機ができず、夜間・休日の診療・検査が求められるが、体制構築をどう進めていくのか。

答 ①現在、医師会においてもインフルエンザ流行期に備え診療体制の検討を行っている。今後、国及び北海道の方針を確認しながら検査可能医療機関等の把握に努めていく。

②発熱患者が増加し

た場合は疾病の識別と感染の蔓延防止対策が重要になることから、医師会及び国保病院と協議しながら体制整備を図っていく。

③具体的な方針はまだ示されていない状況のため、今後の国及び北海道の動向を確認しながら、必要な体制の検討を図っていく。

④現在も国保病院では夜間・休日の救急診療を行っているが、医師会と協議の上、感染拡大を想定した対策や検査体制の強化を図っていく。

問 ①希望する全町

民対象にインフルエンザワクチンの無料接種を行ってはどうか。

②少なくとも「医療・介護・教育・障がい・保育・消防、救急等関係者」に対しPCR行政検査を実施してはどうか。

答 ①例年インフルエンザワクチンの納品数には限りがあり、希望する方が全て接種できる状況にない。

今後、ワクチンについて情報収集を行い、確保に努めていく。

②国が行政検査として決定した場合は、国の方針に基づき実施体制を整備していきたい。

新規就農者

中高年就農者の支援について

問 新規就農者支援策として今年度初めて50歳代の研修生受け入れ機関等に1年間最大120万円の助成制度がつけられたが、来年度以降の制度継続・拡大を政府に求めるべきと考えるが町長の考え方は。

答 シニア世代の新規就農に向けた農業研修支援事業は国の補正予算に基づいたもので、対象期間は本年度末までとなっている。美幌町では、就農後の体力や農地取得までの期限を見据えて50歳未満の方への支援としているところだが、移住対策に繋がる仕組みづくりが可能ななど今後研究していきたい。



町民会館 問 町民会館保有のピアノの管理状況について

稲垣 淳一 議員

答 定期的に保守点検・調律を実施している



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。

問 町民会館で保管

されているピアノは現在どのような管理されているのか。また、導入後2年が経過したフルコンサートピアノ「スタインウェイD-274」は、使い込むほどに音の響きや伸びが良くなると言われており、各地の音楽ホールではボランティアの弾き込みピアノリストを募集するなどの取り組みを行っている

る。町民会館では音づくりのためにどのような運用をしているのか。

答 フルコンサート

ピアノスタイルウェイは常時室温と湿度が管理されているピアノ庫に保管しており、メンテナンスについては正規特約店による年1回の保守点検を実施し、その際に調律も行っている。音づくりについては平成30年度の納入時に4名の方に弾き込みの協力をいただき、その後17回利用いただいている。平成31年度は34回の利用で、本年度舞台

上での無料体験を10月に実施する予定。今後実際に利用いただく中でピアノを育てる方針で進めていき、多くの方に利用いただけるよう努めていく。



自転車保険

義務化の考えは

問 自治体の多くが

自転車保険の加入を

努力義務としているが、児童生徒が万が一加害者になってしまった場合を想定し、自転車保険の義務化を強く進めるべきと考えますが町の考え方は。また、美幌町では毎年「ビホロ100kmデュアスロン大会」が開催されているが、参加資格に自転車保険の義務化を明記し安全管理に務めるべきと考えますが町の考え方は。

答 条例で自転車保

険の加入を義務化している自治体は、未加入者に対して罰則などを設けるものではなく、個人賠償の特約の確認などを求めながら自転車保険の加入推進を図っており、本町も同様の取り組みを行うことで、条例で加入を義

務化する必要はないと考えている。については自転車の交通安全の取り組みに個人賠償特約の確認を加え、保険加入に対する意識の向上を図り、町広報やホームページなど周知活動に努めていく。デュアスロン大会では、自転車保険の加入の義務化や加入の確認はしていない。参加条件として自転車保険加入の義務化は現時点では考えていないが、参加申込時に保険加入の確認や加入促進について周知していきたい。



各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



福祉行政 問 ひきこもり支援の具体策は

岡本
美代子 議員

答 相談場所の周知を図り必要な機関に繋げる



問 第3期美幌町福祉計画において、ひきこもり問題を盛り込む予定とのことだったが、その具体策は。また、ひきこもりの実態調査を行う予定はあるか。町内にひきこもりの方が出かける場所をつくる考えはあるか。

組むほか、相談する場所の周知を図っているところ。地域包括支援センター若しくは民生部に相談があった場合は、その特性を踏まえ必要な機関に繋げる取り組みを行っている。ひきこもりの実態調査については、背景に多彩な精神疾患が関与していることも指摘されていることから、日頃より自治会や民生委員児童委員等から情報を把握している。ひきこもりの方が出かける場所については、現在は新たな居場所をつくる計画はないが、町

内の高齢者サロンや福祉事業所を活用していきたいと考えている。

問 現在では、介護分野でのスマート化が進み、多くの企業が参入し介護ロボット等の開発が進んでいる。町においてもスマート介護を調査研究し、施設介護や将来的には自宅介護に補助し、推進していく考えはあるか。

答 北海道が実施する介護ロボット導入支援事業補助金は、北海道から直接介護事業者に交付され、補助率は2分の1となっている。現在の

ところ町独自の補助制度の検討予定はないが、北海道が実施する「介護ロボット普及推進事業」の介護ロボット等研修会や需要が高い機器の無償貸与の周知に努め、普及促進を図っていきたい。



外来種駆除

アメリカオニアザミについて

問 本年も8月末から9月に入り、外来種アメリカオニアザミの種子が町なかに飛んでいる。繁殖力の強い外来種から美幌町の優良な農地を

守り、次世代へ繋ぐためにも駆除対策が必要と考えるが、前回の質問以降の具体的な取り組みは。

答 外来種アメリカオニアザミが抱える問題については、広報媒体や博物館展示会などを通じて啓蒙活動を進めることが最適と考えている。今年度は博物館ロビー展においてアメリカオニアザミの特徴や駆除方法、外来種が抱える問題などを紹介したり、博物館が発行している月刊情報誌「グリーンレター」、博物館ホームページにおいてコラム文を掲載するなどの周知・啓蒙を図っている。今後とも広く啓蒙活動を充実させていきたい。

7 月臨時会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の補正予算などを可決

人 事 案 件

◆美幌町教育委員会委員 東海政博 氏の任命に同意

補 正 予 算

◆一般会計

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として18事業 415,074千円
- ・畑作構造転換事業補助金として 10,889千円

◆病院事業

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として発熱外来診察室の改修経費など 13,314千円

8 月臨時会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の補正予算などを可決

補 正 予 算

◆一般会計

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として 20,093千円
- ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援金事業として 4,277千円
- ・産地パワーアップ事業補助金として 279,702千円
(アスパラ栽培用ハウス等の導入及び農業用ICT機械の導入に対する農林水産省の間接補助)
- ・屋内多目的運動場のメンテナンス性向上のための設計変更増額として 761千円

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議회를傍聴できます。

12月定例会は12月8日(火)
から開かれる予定です

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や
常任委員会の開催日なども
お知らせしています。

●美幌町ホームページ

(<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp>)

から「美幌町議会」をクリックしてください。

あとがき

▼国内で新型コロナウイルスが発生した1月以降、町は感染症対策本部を設置し、3月臨時会から9月定例会まで必要な支援事業の大型補正予算を提案、審議を経て実施しています。

▼国の交付金を主な財源とし、町も多額の財政調整基金を投入、感染拡大防止、暮らしの支援、事業者支援等により生活や経済を支えています。

▼殆どのイベントが中止となり、ふれあい交流の機会がなく寂しい年となりました。一日も早く終息に向かい、活気ある社会活動ができることを願っています。

▼農作物の出来秋を期待しつつ、インフルエンザの予防も行い、新型コロナを乗り越えましょう。

(晃史)

議会運営委員会

委員長 上杉 晃史
副委員長 高橋 秀明
委員 岡本美代子
委員 稲垣 淳一
委員 木村 利昭